

都市再生整備計画 事後評価シート
醒ヶ井駅周辺地区


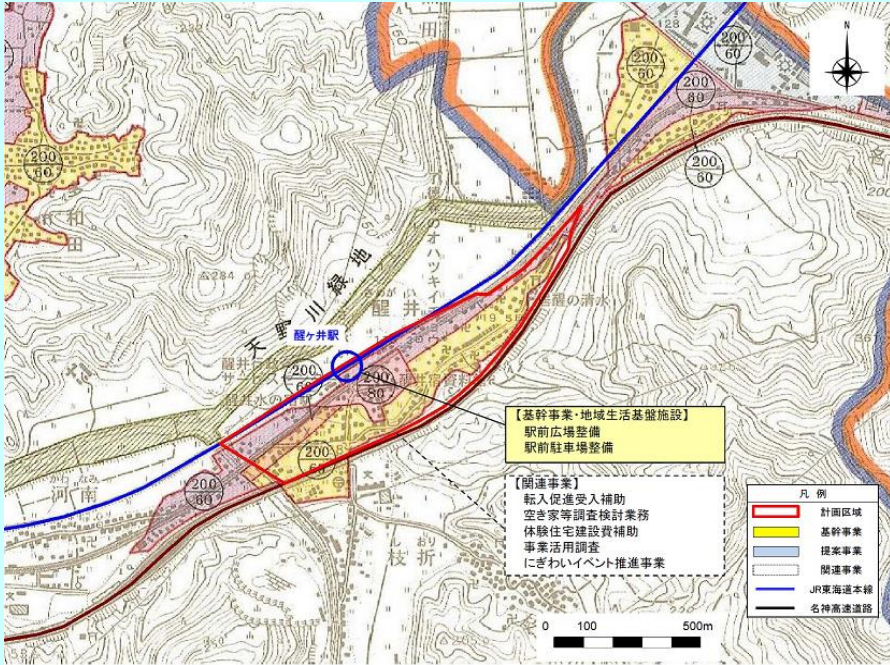

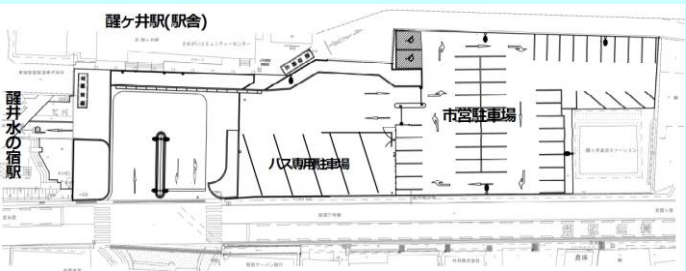

令和3年9月

滋賀県米原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	滋賀県		市町村名	米原市		地区名	醒ヶ井駅周辺地区			面積	29.8ha	
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	60百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駅前広場整備、駅前駐車場整備)									
		提案事業	—									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—									
		提案事業	—									
	新たに追加した事業	基幹事業	—									
		提案事業	—									
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
	変更	平成27年度～令和元年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	醒井水の宿駅(地場物産店)の来客数	人/年	181,400	H25	199,540	R1	88,900	×	あり なし	駅前広場整備工事に伴う営業停止や、新型コロナウイルスの影響で観光客が減少したことにより、指標値が伸びなかった。	-
	指標2	駅の乗降客数	人/日	391	H24	391	R1	359	△	あり なし	新型コロナウイルスの影響で観光客が減少したことにより、指標値が伸びなかった。	-
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
指標5									あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	駅の乗降客数(定期外利用者)	人/日	172	H24		R1	195			駅前整備の影響により、駅の利便性が向上し、定期外利用を促進することができた。	-
	その他の数値指標2	駅前駐車場の利用者数(一日平均)	台/日	0	H25		R1	89			指標値が伸びなかった一方で、整備した駐車場は確実に利用されており、新型コロナウイルスの影響が無くなれば、指標値の上昇にも大きく貢献するものと考えられる。	-
その他の数値指標3	醒井自治会における空家バンク成約件数(述べ数値)	世帯	0	H25		R1	6			本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、醒ヶ井駅周辺の空家活用が加速化しており、目標達成の起爆剤になるものと考えられる。	-	
4) 定性的な効果発現状況	醒ヶ井駅前広場および駅前駐車場整備が整備されたことにより、駅利用者の安全性と利便性が向上し、一時利用者(定期外利用者)が増加した。本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	滋賀県統計書により、毎年、駅の乗降客数のモニタリングを実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も継続して実施する。	
	住民参加プロセス	米原市議会に定期的に進捗状況の報告と意見聴取を行い、整備内容に反映できるように努めた。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も継続して実施する。	
	持続的なまちづくり体制の構築	本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も官民協働により、事業を推進する。	

様式2-2 地区の概要

醒ヶ井駅周辺地区(滋賀県米原市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 駅周辺地域の活性化とにぎわいづくり 目標①: 地域の歴史や文化、街並みを生かしてにぎわいを再生する 目標②: 駅の利便性向上を図る 目標③: 駅周辺におけるコミュニティ拠点の形成		醒ヶ井水の宿駅(地場物産店)の来客数	単位: 人/年	181,400	H25	199,540	R1	88,900	R1
		駅の乗降客数	単位: 人/日	391	H24	391	R1	359	R1
整備改修前		整備後平面図		整備状況写真(R1.6)					
 <p>醒ヶ井駅前広場は、送迎車両や歩行者の動線、停車位置が明確でなく安全性に問題があった。また、醒ヶ井駅周辺には、夜間利用できる駐車場や、時間貸し駐車場が存在しなかった。そこで、醒ヶ井駅利用者等の安全性と利便性の向上を図るため、駅前広場および駅前駐車場の整備を行った。</p>		 <p>【基幹事業・地域生活基盤施設】 駅前広場整備 駅前駐車場整備</p> <p>【関連事業】 輸入促進受入補助 空き家等調査検討業務 体験住宅建設費補助 事業活用調査 にぎわいイベント推進事業</p> <p>凡例  </p>				 <p>醒ヶ井駅前広場 醒ヶ井駅前駐車場</p>			
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> 醒ヶ井駅前広場および駅前駐車場整備が整備されたことにより、駅利用者の安全性と利便性が向上し、一時利用者(定期外利用者)が増加した。 本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空き活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。 観光客や駅利用者の回復に向けて、地域住民や観光客にとって安心安全な新型コロナウイルスの感染症対策を図る必要がある。 人口減少に立ち向かい、更なるまちの活性化を図るには、滋賀県随一の交通社会資本を有する米原市の強みを最大限に活用し、米原駅にまちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる必要がある。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年10月に「まち・ひと・しごと米原創生総合戦略」、平成28年12月に「米原市都市計画マスタープラン」を策定した。これにより、米原駅周辺に都市機能を集積し、まちの核をつくるとともに、時代に合った地域の拠点づくりを進め、『コンパクトネットワーク』を形成することにより、市民の暮らしと持続する地域の将来を創造することを目指している。 平成29年6月には「米原市庁舎等整備基本計画」を策定し、米原駅東口への市役所統合庁舎の建設について、令和3年5月の供用開始を目指し、事業を進めている。また、統合庁舎と合わせて、米原駅東口周辺まちづくりを推進するため、民間企業、県、市による公民連携まちづくり協議会で、滋賀の扉(ゲートウェイ)にふさわしい都市機能の集積を進め、更なる賑わいの創出を目指しており、これらの整備を契機として、醒ヶ井駅を含めた市内各駅周辺にこの効果を波及させる必要がある。 							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他()					

添付様式1ー② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	醒ヶ井駅前	12	駅前広場整備 駅前駐車場整備	60	駅前広場整備 駅前駐車場整備	歩道と車道の明確化のためのブロック等の設置に伴う付帯施設工の増額	—	○	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
転入促進受入補助		醒ヶ井駅、近江長岡駅、柏原駅周辺	13	13	H28	H28	予定どおり完了	
空き家調査検討業務		醒ヶ井駅、近江長岡駅、柏原駅周辺	9	3	H27	H27	予定どおり完了	
体験住宅建設費補助		醒ヶ井駅、柏原駅周辺	22	20	H28	H28～R1	予定どおり完了	
にぎわいイベント推進事業(仮)		米原駅、醒ヶ井駅、近江長岡駅、柏原駅周辺	0	0	-	-	予定どおり完了	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度		モニタリング	R1		モニタリング	×	あり	なし	
指標1	醒井水の宿駅(地場物産店)の来客数	人/年	醒井水の宿駅の来客数データにより計測			181,400	H25	199,540	R1	モニタリング	R1	88,900	モニタリング	×	-	○
										事後評価	確定見込み	○	事後評価	×		
指標2	駅の乗降客数	人/日	滋賀県統計書により、駅の乗降客数を計測			391	H24	391	R1	モニタリング	R1	359	モニタリング	△	-	○
										事後評価	確定見込み	○	事後評価	△		
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	指標値が目標値を下回ったため。	
指標2	指標値が目標値を下回ったが、時間貸し駐車場整備の影響もあり、定期外利用者数が172人(H24)から195人(R1)へと増加したため。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
				基準 年度	基準 年度	モニタリング	R1	事後評価		
その他の数値指標1	駅の乗降客数(定期外利用者)	人/日	滋賀県統計書により、駅の乗降客数(定期外利用者)を計測		172	H24	モニタリング	R1	195	駅前駐車場の効果を直接的に計測できる指標であるため。
							事後評価	確定 見込み	○	
その他の数値指標2	駅前駐車場の利用者数(一日平均)	台/日	市が保有する駅前駐車場利用状況データにより計測		0	H25	モニタリング	R1	89	駅前駐車場の効果を直接的に計測できる指標であるため。
							事後評価	確定 見込み	○	
その他の数値指標3	醒井自治会における空家バンク成約件数(述べ数値)	世帯	空家バンクが保有するデータにより計測		0	H25	モニタリング	R1	6	地域コミュニティの活性化に直接影響を与える指標であるため。
							事後評価	確定 見込み	○	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

醒ヶ井駅前広場および駅前駐車場整備が整備されたことにより、駅利用者の安全性と利便性が向上し、一時利用者(定期外利用者)が増加した。本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
滋賀県統計書により、毎年、駅の乗降客数のモニタリングを実施した。	予定どおり実施した	○ 実施頻度：年1回 実施時期：滋賀県統計書公表時期 実施結果：採用した指標は滋賀県統計書により毎年度、数値が整理されているものであるため、モニタリングを容易に実施することができた。	今後も継続して実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
米原市議会に定期的に進捗状況の報告と意見聴取を行い、整備内容に反映できるように努めた。	予定どおり実施した	○ 実施頻度：年2～3回 実施時期：通年 実施結果：事業計画について随意、米原市議会に意見聴取を行ったため、市民の意見等を整備内容に反映することができた。	今後も継続して実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。	予定どおり実施した	○ ・まいばら協働事業提案制度 ・地域創造支援事業 ・移住定住補助金 ・体験住宅整備事業補助金 など	-	今後も官民協働により、事業を推進する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
R3駅周辺整備事業調整会議	市土木部建設課 市土木部都市計画課 市経済環境部商工観光課 市地域振興部米原近江地域協働課	令和3年3月	市地域振興部米原近江地域協働課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2					
指標名									
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業									
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○						
指標名		醒井水の宿駅(地場物産店)の来客数			駅の乗降客数												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類				
基幹事業	醒ヶ井駅前広場整備	△	駅前広場整備工事に伴う営業停止や、新型コロナウイルスの影響で観光客が減少したことにより、指標値が伸びなかった。	分類Ⅲ	△	新型コロナウイルスの影響で観光客が減少したことにより、指標値が伸びなかった。	分類Ⅲ										
	醒ヶ井駅前駐車場整備	△			△												
提案事業																	
関連事業	転入促進受入補助	△			△												
	空き家調査検討業務	△			△												
	体験住宅建設費補助	△			△												
	にぎわいイベント推進事業(仮)	△			△												

※目標未達成への影響度
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	観光客や駅利用者の回復に向けて、地域住民や観光客にとって安心安全な新型コロナウイルスの感染症対策を図る必要がある。また、人口減少に立ち向かうには、滋賀県随一の交通社会資本を有する米原市の強みを最大限に活用し、米原駅にまちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる必要がある。	観光客や駅利用者の回復に向けて、地域住民や観光客にとって安心安全な新型コロナウイルスの感染症対策を図る必要がある。また、人口減少に立ち向かうには、滋賀県随一の交通社会資本を有する米原市の強みを最大限に活用し、米原駅にまちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる必要がある。		
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
R3駅周辺整備事業調整会議	市土木部建設課 市土木部都市計画課 市経済環境部商工観光課 市地域振興部米原近江地域協働課	令和3年3月	市地域振興部米原近江地域協働課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
醒ヶ井駅には時間貸し駐車場 や夜間出入り可能な駐車場 がなく、旅行・通勤・通学等 の出発駅として利用するには不 便な状況である。交通拠点と しての機能を高めるため、駐 車場の整備が必要である。	醒ヶ井駅前に24時間利用可能な時間貸し駐車場が整 備され、交通拠点としての機能を高めることができた。	該当なし	本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、 駅周辺の企業、地域住民およびまちづくり団体等の活動が 活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。 人口減少に立ち向かい、更なるまちの活性化を図るには、 滋賀県随一の交通社会資本を有する米原市の強みを最大 限に活用し、米原駅にまちの核をつくり、その効果を市内各 駅周辺に波及させる必要がある。
少子高齢化による人口減少 が進み、街並みのにぎわいが 衰退し、空家、空き地が増加 している。	空家バンクを通じて、醒井自治会に6世帯が移住される など、空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活 発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。	空家、空き地の増加は進んでいるため、更なる利活用の促進 が必要である。	
まちのにぎわいを取り戻すた めに、駅周辺を中心とした地 域活動の活性化が求められ ている。	本事業を契機として、駅周辺の企業、地域住民および まちづくり団体等の活動が活発となった。	該当なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	駅周辺を中心とした地域活動の活性化	今後も官民協働によるまちづくりを支援することにより、地域活動の活性化を図る。	まいばら協働事業提案制度 地域創造支援事業

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	米原駅周辺地域の活性化	官民連携により、米原駅周辺地域の開発を進め、まちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる。	米原市役所統合庁舎の整備(米原駅東口) 米原駅東口周辺地域活性化事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	醒井水の宿駅(地場物産店)の来客数	人/年	181,400	H25	199,540	R1	確定	○	88,900	×	あり	○				
							見込み				なし					
指標2	駅の乗降客数	人/日	391	H24	391	R1	確定	○	359	△	あり	○				
							見込み				なし					
指標3				H		H	確定				あり					
							見込み				なし					
指標4				H		H	確定				あり					
							見込み				なし					
指標5				H		H	確定				あり					
							見込み				なし					
その他の数値指標1	駅の乗降客数(定期外利用者)	人/日	172	H24			確定	○	195							
その他の数値指標2	駅前駐車場の利用者数(一日平均)	台/日	0	H25			確定	○	89		あり					
							見込み				なし					
その他の数値指標3	醒井自治会における空家バンク成約件数(述べ数値)	世帯	0	H25			確定	○	6		あり					
							見込み				なし					

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	毎年データが算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため、指標を設定する際には計測のことも考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・各事業と関連が深い数値を目標として使用したことで、整合性を図ることができた。	・都市再生整備計画の作成時には、事後評価の実施を考慮して指標を設定する必要がある。 ・従前値の算出方法の記録を保管しておくことが必要である。
	うまくいかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・米原市議会と調整を図ることで、スムーズに事業を進めることができた。	・住民参加はまちづくり事業を円滑にする上で有効である。
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・既存組織を活用することで、スムーズに事業を進めることができた。	・モニタリングの実施は、事業の進捗状況を確認できて有効である。
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6—参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

--

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	米原市公式ウェブサイト	R3.5.28～R3.6.11	R3.5.28～R3.6.11	郵送 ファクス	市民部 地域振興課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	—	—	—	—	—
その他の委員	—				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	—
	成果の評価	—
	実施過程の評価	—
	効果発現要因の整理	—
	事後評価原案の公表の妥当性	—
	その他	—
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	—
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	—
	フォローアップ	—
	その他	—
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	—
その他	—	—

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
米原市都市計画審議会 井口 貢 会長 (同志社大学教授)	令和3年9月2日	市土木部都市計画課 市民部地域振興課

有識者の意見	<ul style="list-style-type: none">・中山道と地蔵川の景観があり、駅前には水の宿駅があるため、駅を降りてワクワク感がある。しかしながら、水の宿駅に対する魅力が年々失われつつあるため、対策が必要と考えられる。・伝建地区に指定することで、新たな可能性が出てくると思われる。
--------	---